

項目	内容
名称	グレープフルーツ [英]Grapefruit [学名]Citrus paradisi、Citrus maxima、Citrus decumana
概要	グレープフルーツは、ミカン科の植物で、高さ5 m程度に生長する。果実は一一般的に食用として利用される。果肉が白色のもの(ダンカン、マーシュシードレス)、ピンク色のもの(フォスター、トムソン)、赤色のもの(スタールビー)など様々な品種がある。
法規・制度	■食薬区分 <ul style="list-style-type: none">・果実：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料)」に該当する。 ■食品添加物 <ul style="list-style-type: none">・既存添加物 グレープフルーツ種子抽出物(グレープフルーツ種子)：製造用剤・天然香料基原物質リスト グレープフルーツが収載されている。 ■海外情報 <ul style="list-style-type: none">・米国では、GRASに該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	
分析法	-

有効性

循環器・呼吸器	メタ分析 ・2013年4月までを対象に4つのデータベースで検索できた無作為化比較試験3報について検討したメタ分析において、過体重または肥満の成人によるグレープフルーツの摂取は、腹囲(3報)、収縮期血圧(3報)の低下、HDL-C(3報)の上昇と関連が認められたが、体重(3報)、拡張期血圧(3報)、空腹時血糖(2報)、LDL-C(2報)、TG(3報)との関連は認められなかった (PMID:25880021)。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	RCT ・肥満成人91名(18~65歳、アメリカ)を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、グレープフルーツ1/2個(24名)、グレープフルーツジュース237 mL(21名)、グレープフルーツ凍結乾燥末500 mg(24名)のいずれかを3回/日、12週間摂取させたところ、グレープフルーツ摂取群においてのみ体重の減少が認められたが、他の群では認められず、いずれの群においても体脂肪率、腹囲、血圧、空腹時血糖、インスリン濃度、血中脂質、肝機能マーカーに影響は認められなかった (PMID:16579728)。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)
(35) 新分類 牧野日本植物図鑑 北隆館
(76) 日本食品大事典 医歯薬出版株式会社
(78) 食品添加物インデックスPLUS [第4版] 和名・英名・E No.検索便覧 (公社) 日本輸入食品安全推進協会 中央法規
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
(110) 天然香料基原物質リスト (公) 日本食品化学研究振興財団
(2006279651) *Allergol Int.* 2009;54(3):495.
(2008174752) 松戸市立病院医学雑誌. 2007;17:12-5.
(2006128468) *神経内科.* 2006;64(1):118-9.
[\(PMID:9518397\) *Ann Intern Med.* 1998 Apr 1;128\(7\):534-40.](#)
[\(PMID:15710766\) *Circulation.* 2005 Feb 22;111\(7\):835-8.](#)
[\(PMID:17468864\) *Eur J Clin Pharmacol.* 2007 Jun;63\(6\):565-70.](#)
[\(PMID:17530235\) *Eur J Clin Pharmacol.* 2007 Jul;63\(7\):721-2.](#)
[\(PMID:17875111\) *J Clin Pharm Ther.* 2007 Oct;32\(5\):457-9.](#)
[\(PMID:18402564\) *Intern Med J.* 2008 May;38\(5\):364-7.](#)
[\(PMID:19204629\) *South Med J.* 2009 Mar;102\(3\):308-9.](#)
[\(PMID:20970282\) *Am J Emerg Med.* 2012 Jan;30\(1\):248.e5-8.](#)
[\(PMID:25880021\) *Crit Rev Food Sci Nutr.* 2017 Feb 11;57\(3\):602-612.](#)
[\(PMID:19345832\) *Lancet.* 2009 Apr 4;373\(9670\):1222.](#)
[\(PMID:16579728\) *J Med Food.* 2006 Spring;9\(1\):49-54.](#)
[\(PMID:22039822\) *Curr Pharm Biotechnol.* 2012 Jul;13\(9\):1705-17.](#)
[\(PMID:24292052\) *Biol Pharm Bull.* 2013;36\(12\):1936-41](#)
[\(PMID:16415112\) *Drug Metab Dispos.* 2006 Apr;34\(4\):521-3.](#)
[\(PMID:29123746\) *Acute Med Surg.* 2015 Apr 28;3\(1\):36-38.](#)
[\(PMID:12811362\) *Clin. Pharmacol Ther.* 2003; 73\(6\): 529-37.](#)
[\(PMID:12127912\) *Life Sci.* 2002;71\(13\):1579-89.](#)
[\(PMID:27278683\) *Eur J Drug Metab Pharmacokinet.* 2016 Dec;41\(6\):665-673.](#)
[\(PMID:32047806\) *Biomed Res Int.* 2020 Jan 24;2020:1631735.](#)
[\(PMID:31231823\) *J Clin Pharm Ther.* 2019 Oct;44\(5\):819-822.](#)
[\(PMID:9260034\) *Clin Pharmacokinet.* 1997 Aug;33\(2\):103-21.](#)